

# 平成30年度 第1回 東松島市復興まちづくり計画市民委員会

## 【開催概要】

平成30年8月7日（火）19時より、東松島市役所本庁舎202会議室において、市民委員18名およびアドバイザー企業5社が出席し、平成30年度第1回東松島市復興まちづくり計画市民委員会が開催されました。

### 【内容】

1. 委嘱状交付
2. 市長挨拶
3. 東松島市復興まちづくり計画市民委員会について
4. 委員長、副委員長選出
5. 人口ビジョン・総合戦略について
6. 意見交換 ～平成29年度東松島市人口ビジョン・総合戦略実施事業について～
7. その他 今後の予定について



## ■市長挨拶

復興庁が廃止される平成32年度末までに復興を完結させる必要がある。ハード事業を進めるだけではなく、被災者の心の復興などのソフト事業にもしっかりと取り組んでいきたい。

本市は、6月に「SDGs 未来都市」に選定された（SDGs：持続可能な開発目標）。また、アテネから来る2020年のオリンピック・パラリンピックの聖火、復興の火の日本到着地が本市にある航空自衛隊松島基地に決まった。本市は市外からも復興の先進都市として期待されていると感じており、さまざまな事柄をチャンスとして活かしながら、創造的復興を目指していきたい。

市民の皆様にも、復興の現状をご理解いただき、様々なご意見をいただきたいと考えているので、どうぞよろしくお願いしたい。

## ■意見交換 ～平成29年度東松島市人口ビジョン・総合戦略実施事業について～

市の人口・産業等の状況について、大村委員長より情報提供を行った上で、平成29年度に実施した「東松島市人口ビジョン・総合戦略」に基づく事業について、市の担当職員と委員がポスターセッション形式で意見交換を行いました。具体的には、「定住化促進事業」と『教育が充実しているまち』としてのブランド確立事業の2事業について、これまでの実施状況や現状・課題、市で実施した内部評価について、市民からの目線で意見を出し合いました。

◇平成29年度東松島市人口ビジョン・総合戦略実施事業について（一部意見を要約）

- ・定住促進のためには、空き家バンク等の制度を外に向けて積極的にPRしてることが重要である。あわせて、長く住んでいただくためには、本市の住みやすさ、働きやすさなどの魅力を発信することも求められる。
- ・コミュニティスクールは、取組自体を知らない人がいるなど、まだまだ地域に馴染んでいないように感じる。多くの方に関わってもらい、地域で取組を継続していけるよう、地域の人材探し、人材育成を進めることも大切である。
- ・「森の学校」の取組を他地域へPRし、「教育が充実しているまち」としてのブランド強化につなげてほしい。